

## 岩戸町会だより

## 岩戸町会だより

令和5年第2号  
発行  
岩戸町会  
編集  
岩戸町会広報

岩戸町会・南北  
地域懇談会

令和6年2月18日（日）町会第一会議室で行われました。

今年は、平成5年に開始以来、今回で28回目の開催となり、また、コロナの影響で、4年7ヶ月ぶりの開催となりました。

《午前の部 岩戸北 10時～12時  
理事・班長・役員20名参加》

【意見1・班長】狛江市における岩戸の世帯数世帯人数を考えると、単身世帯が、半分ぐらい。昔は公的機関の細かいサービスがなかった。そのため防犯などは地域の自治会が担っていた。昔の人は24時間、地域で働き暮らした。そして、絆を持たなければ生活ができなかった。現代は、地域を離れ街で働き、地域は寝泊まりするだけに、戻ってくる。その実態から、町会にはいる必要性がなくなるのは当然。それを踏まえ、現状の活

動を見直し考える必要がある。

【意見2・理事】「加入メリットの明確化」「災害時の連携」「地域や活動情報のデジタル配信」などの意見を班員から預かった。

これらは、数年前から課題に上がっている。会員世代の幅があり意見をまとめるのは大変だが、課題を先送りするのではなく、会員のみんなで考え解決しなければ、「町会メリットの問題」が肥大化していく。最近、近隣の方が亡くなっても、その情報が届かず、訃報を隠したがる風潮も地域の繋がりとという点では問題があると感じる。会員の方、ご遺族の方が、慶弔金が受取れる規則さえ知らない方もいる。もつと会員への周知が必要。

【意見3・理事】掲示板の必要性を感じる。喜多見地域の掲示板は、イベント情報が多く貼られ、町会と直接関係のないものも掲示されている。町会の掲示板は、あまりうまく活用されていないように

に見える。もつと活用方法、運用方法を考えた方が良い。

【意見4・班長】この地域に住み30年。65歳になり、地域活動に参加をしなければと実感している。仕事の関係で、IT知識があるので、お手伝いできればと思う。

【意見5・班長】班長になり良かったことは、会費集金の際、住人の方を知ることが出来た。

回覧板を回した際は会話ができた。意見交換の機会になるので、デジタルだけではなく、両方あるのが良い。

【意見6・班長】班長は輪番制。近隣とは、コミュニケーションをとり情報交換しているが、全体では、親しい関係はできていない。

ただし、班長の時に、会費集金をの際、それから顔見知りになり、会話、挨拶するようになった。

【意見7・班長】当班は、班長を輪番制。現状は担い手の問題はない。回覧板が隣人との顔合わせの機会となっているが、タイミン

グが合わない事も多く、その際は、ポストに投函するようになっている。回覧板が本来の意味を持っていない。掲示板は、立止まって見ている方をよく見かけるので、必

要性が高い。掲示物を貼る作業は、シルバー人材センターに業務委託を検討しても良い。

【意見8・理事】以前の会長の薦めで理事になった。理事になって本当に良かった。地域の人たちと関わりを持ちやすくなり、街であつたら互いに挨拶したり、世間話をしている。一人住まいの方にも、町会理事という立場から声をかけやすい。回覧板を回す際も、班の状況や、困ったことなど問



【意見9・班長】自治会の活動を知ってもらうには、デジタル化、回覧板も必要だが、興味をもてる

## 岩戸町会だより

内容のコンテツ作りが重要。町会未加入のマンシヨンは、同じ地域に住む住人として、町会の活動を知ってもらうことが大事。そのうえで、マンシヨン内に掲示の許可をえて、町会活動を掲示していくべきだと思う。

【意見10・班長】地域であった出来事です。が「狛江市の防災から水を配布にきましたと夕方に訪問があった」おかしいと思い、すぐに警察に通報、警察官が来てくれ調べることになった。「近所で住宅を撮影してる不審者がいたので、声をかけると道路を調べていると言った。でも、家を撮影していたよねと訪ね返した」これも、すぐに警察に連絡した。警察官に、それは泥棒と言われた。家を撮影して地図に記録し、情報を売る商売なのだと。怪しいと思ったら、まずは、110番してください。

【意見11・理事】班長を輪番制で回している班もあれば、違う班もある。私は、輪番制ではない班にいて、すでに5年も班長をつづけている。理事は、以前の方が、今年度から輪番制にしてくれた。ただ次の班からスムーズに理事が出てきてくれるのが心配。やは

り、担い手不足は課題。

【意見12・班長】町会のメリットを伝える考えもあるが、町会に加入しないと、どんなデメリットがあるかを考えても良い。災害時などに、町会に入っていないと困るという啓蒙をしていくのが良い。

【意見13・班長】回覧板の本質はコミュニケーションであって、内容ではないということがわかった。地域のコミュニケーション作りという点では、親睦会などがあるので、そこを競うのではなく、町会ができることを突き詰めていかなくては。

《午後の部 岩戸南 13時～15時  
理事・班長・役員22名参加》

【意見1・理事】地域の広報を発行して情報を提供し意見の吸収に努めてきたが「町会に入ってもメリットがない」「高齢化で任務ができない」との声があり集団で退会された班が過去にあった。班長になり手がいない問題として「高齢家族の介護」「子育て真最中」「一家総働き」という理由がある。

【意見2・班長】駐車場跡地が、分譲住宅になり家が建ち、かなりの軒数が増えた。これは、どのように対応すればよいのでしょうか。

《解答》回覧するにも限度があるので、1班あたり10軒ほどが望ましい。区分けする際のルールはとくになく、その地域、地域で決めてきている。まずは、班を分ける要望を地域の理事さんにご相談ください。

【意見3・班長】今回班長になった契機に、班員と会話する機会があり、あまりの高齢化が進んでいることに驚いた。また、町会の認知度やメリットを感じていない方が予想以上に多い。地域の結びつきは大事だと思っている。現実問題として、急速な高齢化に、地域住民が社会に対して、どのようにこの変化を考えているか検証しないと、昔の在り方を前提にしても何も得られない。すでに、来年度の退会連絡をもらっている。区割りを見直す、デジタル化をすすめるのは、待ったなし。

【意見4・理事】回覧板は手渡しと教わってきたが、高齢化の影響で相手が出るのも大変、時間がかかり待つ方も大変。一方で若い世帯も増えているので、町会の運営の仕方を考えて欲しい。

【意見5・班長】災害時に助け合うことは共有できるテーマであ

る。参加してためになるようなセミナーをやり、そこで顔見知りになりメリットがあるような場作りをして盛り上げていくと良い。

【意見6・班長】大きな場所に集まって防災訓練をするもよいが、そこに向かうことが出来ない災害弱者がいる。そこへのケアを考えると、地域の身近なところで訓練を行うことを考えてほしい。そうすることで地域で誰が、何ができ、助けることができるか、わかってくる。実験的にでも取り組んで。

【意見7・班長】ハザードマップによると、大雨が2日間降るとエリアの半分ぐらいが浸水する地域。近隣には高台がない、あっても収容人数に限りがある。有事への対策を考える必要がある。

【意見8・理事】私も現役。定年が延長されたことから、長く働く方が増え、理事がみつからない。北4丁目地域は、災害時、公共の場所がなくニトリや国本学園はあるが、他の地域でいっぴいになる。その時は陸の孤島になる。

【意見9・理事】防犯カメラの設置を町会がやっていると、前はじめて知った。要望は各所からあってもいいが、狛江市が一元管

## 岩戸町会だより

理するべきだと思えます。

【意見10・理事】狛江市では、町会でニーズがある場所に、防犯カメラの補助金をだすので設置してもらおうように予算が確保されているはず。データは、防犯カメラ内に蓄積される。一定期間が経つと古いものから消去され、そこには新しいものが書き込まれる。だれかがデータを管理しているわけではない。市や警察の判断でここに設置しようという以外に、町会のニーズで設置している。設置時にメンテナンス込みの契約。

【意見11・班長】未加入者に勧誘に伺ったが、昼間はあえず、会えた時には、「興味がない」「何のメリットがある」という理由で未加入。町会活動、イベントなどは、町会会員だけではなく、地域の未加入者へQRコードがついた、ポスターやちらしを配布すれば、未加入者も興味をもつのでは。

【意見12・班長】近隣の方と、老人クラブに入り、いろんな所に出かけ、コミュニケーションをとっている。最近は、回覧もないので、若い方達と話す機会もない。なにかいいアイデアがないかと思っています。

【意見13・班長】回覧板によって、近隣と話す機会でき、若い方に声をかけると加入してくれることもある。声かけによって興味を持つてもらえる。きつかけがあれば輪が広がっていくと思う。

【意見14・班長】会費を払ったが、その後の情報が何もなく、活動しているかわからない。メリットがなく続けたくないという方が増えるのが心配。本来情報を待っている立場だが、その情報がなければ動けない、何も発信できない。

【意見15・班長】慶弔金があることや避難場所のお知らせを作り、班長名で伝えた。常に意識を持つてもらえるような情報発信が重要。

【意見16・班長】未加入者の勧誘にあたって説明できるPR資料が欲しい。神社行事、町を愛する行事などとタイアップ出来ないか。

【意見17・理事】本部役員の時からデジタル化を言い続けてきた。若い方に変わらないとダメなのかとあきらめかけていた。コロナ禍であってもデジタル化していれば情報発信ができた。災害時の避難場所について、たらい回しにならないように情報発信にデジタル化は不可欠。

### 岩戸町会・第44回多摩川クリーン作戦

令和6年4月13日 第44回多摩川統一清掃が開催されます。本年度も岩戸町会は参加します。街のいろいろな団体や学校関係者など、多くの市民が参加して、わいわい楽しみながら清掃します。清掃道具は、町会で準備しますので、手ぶらで参加できます。

岩戸町会は、8時45分に、八幡神社に集合して、会場目的地向かいます。ご近所お誘い合せの上、是非ご参加ください。(所要時間は、約120分です。途中退場可)

### 防犯カメラ設置

今年度、狛江市の補助金を利用して、防犯カメラを1台新設しま

した。場所は、南地域、一の橋通りとなりました。

設置に当たっては、地域内の候補をあげ、調布警察署に赴き、相談しながら設置に至りました。尚、次年度も、1〜2台の設置を予定しています。

### 環境文化部・岩戸写メラリー

令和6年3月24日(日)13時〜16時に町会主催・環境文化部による新企画「岩戸写メラリー」が開催されました。新しく町会に加入された方や、お子様たちに、岩戸地域をもっと知ってもらいたく企画されました。決められた岩戸地域にある、公共建物や名所旧跡な





## 岩戸町会だより

どを回って写真撮影してもらおうイベントです。当日は、大人の会員の方や、親子づれの方、子供たちだけでなく、多くの人に参加をいただきました。



北地区・電力中央研究所



南地区・岩戸せせらぎ公園

### 町会防災部より

大規模災害首都直下地震、風水害、その時どう動かなければなら

ないか日頃から考えておく必要があります。《自助》身の安全を守る。火の始末と同居家族の安否確認、出口の確保、外の様子を確かめる。《近助》隣近所の安否確認と救出救護、地域活動拠点への通報。一時集合場所や避難場所や避難所に向かう人は、町会での避難所は、第一小学校、第三小学校、第六小学校、第二中学校等です。避難所では、避難所係員の指示に従って行動してください。

自宅避難の場合は余震に気を付けて、確かな情報を判断して、適切な行動をする。日頃から備蓄を確かめる。飲料水3リットル×3日人数分、保存食料(クラッカー缶詰レトルト食品・フリーズドライ食品等)。懐中電灯、携帯ラジオ、救急医療品、常備薬、消毒液、生活用品、ヘルメット、軍手、マスク等。

#### 地震その時10のポイント

①地震だ！まずは身の安全

揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは、身の安全を最優先に行動する。

②落ち着いて火元確認 初期消火 火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の

始末をする。

③あわてた行動 けがのもと

④窓や戸を開け 出口確保

⑤門や塀には近寄らない

⑥火災や津波 確かな避難

⑦正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。

⑧確かめ合おう我が家の安全 隣の安否

我が家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。災害伝言ダイヤル「171」。

⑨協力し合って救出・救護

⑩避難前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時は、ブレーカーを切りガスの元栓を締め避難する。

### 町会会議室貸出について

コロナ禍で中断していた町会公民館「第一会議室」の貸し出しを令和5年5月のゴールデンウィーク明けから再開いたします。

貸し出しをご希望の団体は、あらかじめ町会事務所にて、団体登録をしてください。(町会加入のマンション管理組合や町会内部の各部、友好団体等は除きます)。

そして、利用の申し込みは町会

事務所にて、その都度行ってください。なお、貸し出しには各種条件があります。詳しい内容は、町会50周年記念誌をご確認いただくか、町会事務所にお問い合わせください。

\*「第2会議室」の貸し出しは引き続き中止いたします。

\*現在運用の検討をしています。変更する場合は、あらためて告知します。

### 慶弔金・出産祝い金の申請忘れていませんか

町会には、対象の方が「慶弔金」「出産祝い金」を受け取れる会則があります。最近、この会則を知らなかった、申請を忘れていたという方が増えています。対象の方は、慶弔金5千円。出産祝い金は3千円、支払われます。

事由発生から6か月以内に、町会に申請を届くように、各班長・理事に提出をお願いします。また、岩戸町会会員と同一世帯の人が対象となります。